

熊本都市計画道路の変更(熊本県決定)

熊本都市計画道路中1・4・7号 中九州横断道路熊本環状連絡線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考	
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造		
() 自動車専用道路	1・4・7	中九州横断道路熊本環状連絡線	合志市 大字野々島 字木原野	熊本市 北区 下硯川町	熊本市 北区 大鳥居町	約3,890m		4車線	20.5m			
	構造形式の内訳			合志市 大字野々島 字木原野	熊本市 北区 梶尾町		約1,150m	嵩上式		20.5m		
				熊本市 北区 大鳥居町	熊本市 北区 梶尾町		約780m	掘割式		20.5m		
				熊本市 北区 西梶尾町	熊本市 北区 西梶尾町		約370m	掘割式		20.5m		
				熊本市 北区 四方寄町	熊本市 北区 下硯川町		約590m	掘割式		20.5m		
							約1,000m	地表式		20.5m		
	なお、合志市野々島地内に出入口を設ける									主要地方道熊本菊鹿線に接続		
	なお、熊本市北区大鳥居町地内にジャンクションを設ける									九州縦貫自動車道に接続		
	なお、熊本市北区下硯川町地内に出入口を設ける									国道3号に接続		

このうち、合志市域内の区域を熊本県が、熊本市域内の区域を熊本市が定める。

「位置、区域及び構造は計画図表示のとおり」

都市計画を変更しようとする理由

熊本都市計画区域は、熊本都市計画区域マスタープランにおいて、産業、経済、教育、文化、広域行政等の高次都市機能を集積するとともに、広域交通拠点を有する地域として拠点性を高め、九州各都市圏、日本全国、東アジアと連携した都市づくりを進めていくこととしている。

この中で中九州横断道路は、九州縦貫自動車道と同様に、本区域と周辺都市・他区域と連絡し、中核拠点都市圏の骨格を形成する「広域交通骨格道路」と位置付けられておりセミコンテクノパークなどの工業生産拠点の拠点形成に資する主要な道路として、整備を推進することとしている。

併せて、第2次熊本市都市マスタープランにおいても、九州中央の地理的優位性や、大規模自然災害時の救援・救護、災害復旧等の都市間連絡を強化するため、都市圏の骨格となる2環状11放射道路網とそれらを連絡する都市内道路網の形成を促進することとしており、中九州横断道路を11放射道路網の一部に位置付けている。

これらを踏まえ、九州における拠点性の向上を図り、他都市圏と連携した都市づくりを進める観点から、中心市街地等の拠点性の向上並びに工業生産拠点への速達性向上による産業の活性化、信頼性の高い緊急輸送路の確保、観光振興の促進、渋滞緩和による生活環境の改善を図るため、熊本都市計画道路1・4・7号中九州横断道路熊本環状連絡線について、令和6年2月に車両の通行に必要な路面幅で都市計画決定を行った。

現在、国土交通省にて事業を進めているものの、TSMC進出に伴う半導体関連企業の集積・開発が進んでおり、交通渋滞が深刻化している状況にある。

そこで、整備をさらに加速させ、交通分散による定時性・速達性を確保等の効果を最大限発現させるため、有料道路事業を導入すべく、料金所等の施設を配置するために必要なエリアを、今回新たに都市計画の区域に追加するものである。

なお、今回の変更は、熊本都市計画道路1・4・7号中九州横断道路熊本環状連絡線のうち、合志市域分を熊本県で定めるものである。

1・4・7号 中九州横断道路熊本環状連絡線 延長L=約3,890m 4車線 W=20.5m

1・4・7号 中九州横断道路熊本環状連絡線のうち合志市域内の区域を熊本県が定める。

終点：熊本市北区下硯川町

起点：合志市大字野々島字木原野

凡例

	都市計画道路の区域
	町丁目界
	字界(大字)
	字界(小字)
	行政界

